

2019年度 東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻 修士課程
入学者選抜試験 第1次試験問題

問題1

アート、芸術の起源に関してこれまでに様々な方向からの研究、議論が行われてきた。

課題文の、京都大学霊長類研究所で行なわれた研究に基づく齋藤巫矢氏の文章を読んで、大型類人猿がおこなう“表現行為”とあなたが行う表現行為を比較しながら、あなたの表現（これは作品制作だけでなく、研究やアートに関わるすべての活動を含む）の源泉、根底にあるものについて、解答用紙①の欄に450字以上500字以内で記述しなさい。

出典：日本心理学会／心理学ワールド／81号 ヒトと動物の芸術心理学／2018年4月号

問題2

あなたが提出したポートフォリオに含まれ、まとめられたあなたの作品、またはあなたが行なった活動（研究、プロジェクト、その他）に関する質問です。ポートフォリオから3つの作品（または研究、プロジェクト、その他）を選び、それらに関し、以下の[1]～[5]の項目に要約しなさい。

- [1] 作品（または研究、プロジェクト、その他）のタイトル
- [2] 作品の成立時期（または研究、プロジェクト、その他を行なった時期）
- [3] 作品（または研究、プロジェクト、その他）の形態
- [4] 作品における（または研究、プロジェクト、その他）あなたの役割、関わり方
- [5] 作品（または研究／プロジェクト／その他）の概要、特徴

そして、例1 例2 にならって解答用紙②-1、②-2、②-3の欄に、ひとつの作品につき150字以内で記述しなさい。

例1

[1]「太陽の塔」 [2]1968年～1970年 [3]建築造形を含むインスタレーション [4]建築造形およびに 展示物のデザイン、創作、全体構成 [5]太陽の塔は過去・現在・未来を貫いて生成する万物のエネルギーの象徴でありまた、生命の中心を表現するものである。1970年の大阪万国博の期間中公開された。（147字）

例2

[1]「幸福な日々」(S.ベケット) [2]2018年の9月 [3]翻訳による演劇の上演 [4]舞台美術 [5]S.ベケットの一人芝居である「幸福な日々」の、喋り続けながらも、徐々に動けなくなっていく演者の内面の変遷を 演出家とともに 簡素な道具、創作オブジェにより表現。（130字）

※この問題用紙は試験終了後に回収します。

※問題の記述にあたっては縦書きで書くこと。